

新型コロナウイルスワクチン接種 最新情報

三鷹市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター☎0570-026-567

過去、年末年始にかけて新型コロナウイルス感染症が流行しています。年内のワクチン接種を、ぜひご検討ください。※接種は強制ではありません。

12歳以上

オミクロン株対応ワクチンのご案内

●接種間隔が3カ月以上に短縮されました……

2回目の接種が完了した12歳以上の方は、3～5回目の接種間隔が3カ月以上に短縮されました。接種券が届き次第、予約可能です。

接種券に同封のご案内は、接種間隔が短縮される前に作成したものです。ご案内には「5カ月」と記載されていますが、現時点では「3カ月」以上の間隔で接種が可能です。

●通知に接種日時などの指定がない方……

接種を希望する方は、集団・個別のいずれかの接種予約をお願いします。

集団接種

3～5回目接種

日 12月4日(日)までの火～日曜日午前9時～午後6時30分(土・日曜日、祝日は4時30分まで) 所 元気創造プラザ
※12月6日(火)以後の予約枠は、11月15日(火)午前9時以降に追加予定です。
◆使用するワクチン オミクロン株対応ワクチンのファイザー社「BA.5」対応型、モデルナ社「BA.1」対応型
※他のワクチンの取り扱いはありません。インフルエンザとの同時接種をご希望の場合は、医療機関にご相談ください。

個別接種

1～5回目接種

所 市内約70カ所の医療機関(詳しくは市ホームページ「右記QRコード」をご確認ください)
◆使用するワクチン ファイザー社「BA.5」対応型
※1・2回目接種は従来型ワクチンです。



物 いずれも本人確認書類、接種済証、接種券が印字された予診票(必要事項を事前に記入)

乳幼児

6カ月～4歳の方の初回接種を開始します

初回接種として3回に分けて接種します。接種券は11月9日(水)以降に届くように一斉発送します。接種は個別接種のみで、11月9日から医療機関ごとに順次予約を開始します。なお、乳幼児についても、他の接種と同様、接種は強制ではありません。

所 市内6カ所の医療機関(詳しくは市ホームページ「右記QRコード」をご確認ください)
※5歳以上の方が接種できる医療機関とは異なります。



◆接種間隔 1回目接種後、3週間の間隔で2回目を接種
2回目接種後、8週間の間隔で3回目を接種
◆使用するワクチン ファイザー社(6カ月～4歳用)※

小児

5～11歳の方の接種

所 市内10カ所の医療機関(詳しくは市ホームページ「右記QRコード」をご確認ください)
◆使用するワクチン ファイザー社(5～11歳用)※
◆接種間隔 3週間の間隔で2回接種後、5カ月以上の間隔で3回目を接種



物 いずれも母子健康手帳、接種券が印字された予診票(必要事項を事前に記入)

※オミクロン株対応ワクチンではありません(乳幼児用および小児用のオミクロン株対応ワクチンは薬事承認されていません)。

12歳のお子さんがいる保護者の方へ

小児用の接種券で1・2回目を接種していないお子さんが、12歳になった後に接種を希望する場合は、市ホームページ「右記QRコード」から12歳以上の方向けの接種券を申請してください。



予約、接種日時などの
変更、キャンセルの方法

12歳以上

乳幼児

小児

※接種券に記載の10桁の接種券番号が必要です。

集団接種

- 三鷹市ワクチン接種 web予約サイト
- 市コールセンター☎0570-026-567 (平日午前9時～午後5時)

※11月8日(火)午後9時30分～11時30分、14日(月)正午～15日(火)午前9時はメンテナンスのため予約できません。
※コールセンターはフリーダイヤルではありません。
※やむを得ず当日キャンセルする場合は、市の代表番号へご連絡ください。

個別接種

各医療機関で直接予約(市の予約サイトやコールセンターでは予約できません)



予防接種健康被害
救済制度

接種を受けることにより、接種部の腫れや倦怠(けんたい)感、発熱などの副反応以外に、極めてまれではあるものの病気になるったり、障がいが残ったりすることがあります。接種を受けたことによる健康被害であると厚生労働大臣が認定した場合、国による救済が受けられます。

※詳しくは、市ホームページ「右記QRコード」をご確認ください。



機能性ディスペプシアとは

近年、コマーシャルでも聞く機会が増えた「機能性ディスペプシア(functional dyspepsia,FD)」が注目されています。胃がもたれる、胃痛、食欲不振などの症状がある程度続いているのに、胃の検査で何も認められないという病気を機能性ディスペプシアといいます。以前は単に「気のせい」で片付けられてしまいましたが、あるアンケート調査では10人に1人ほど悩んでいることが分かりました。

この原因には、胃酸過多や胃の運動障害、感覚異常、心因性などいろいろな要因が関わっており、治療が難しいこともあります。コロナ禍にある昨今では、不安が強く、運動不足であったり、ストレスの解消ができない状況にあり、このような症状で困っている方は増えていいると思われます。

治療に関しては、適度な運動をする、きちんとした睡眠、規則正しい生活、暴飲暴食しない、禁煙するなどの一般的なことがいわれていますが、治らない場合は薬による治療となります。

薬物治療としては、胃酸を抑える薬や胃の運動を改善する薬、漢方などが用いられます。これらの薬の中には、内視鏡検査を行わないと投薬できない薬もあります。ディスペプシアと認めていると、実は胃潰瘍や胃がん、内臓の病気が隠れていることもあります。ディスペプシアは、検査などでそのような病気が否定されて初めて診断できる病気であり、症状が続くときは、専門家にぜひ相談いただきたいと思います。

三鷹市医師会 ☎0422-472155